

## 第25回 協働のまちづくり推進特別委員会記録

令和6年2月22日（木）

開議 13時 49分

閉議 14時 35分

第2委員会室

【委員】 西田委員長、~~上野副委員長~~

村木委員、村武委員、柳楽委員、岡本委員、芦谷委員、川神委員

【議長・委員外議員】 笹田議長

【事務局】 松井次長、小寺書記

---

### 議 題

1 特別委員会の最終報告について

(1) 報告内容確認

(2) その他

2 市民等へのメッセージについて

(1) 浜っ子タイムズ

(2) はまだ議会だより

(3) その他

3 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[ 13 時 49 分 開議 ]

○西田委員長

ただいまから第25回協働のまちづくり推進特別委員会を始める。上野副委員長が欠席である。先般15日には議長へ提言書を提出した。そして16日には市長に、私、柳楽委員、村木委員、芦谷委員の4人で伺い、市長へ提言書を提出している。そのときに市長とも若干意見交換をしたのだが、その話は置いておいて議題を進める。

1 特別委員会の最終報告について

(1) 報告内容確認

○西田委員長

資料を見てほしい。事務局から説明をお願いします。

○小寺書記

( 以下、資料を基に説明 )

○西田委員長

3月4日の議案質疑の後に、皆に最終報告をする。3ページにわたる中で、皆が気づいた点があればお願いします。特にないか。

( 「なし」という声あり )

このような形で最終報告をする。皆に確認いただいたということで進めたい。

(2) その他

○西田委員長

3月4日予定の最終報告について、ほかに何かあるか。特にないか。

( 「なし」という声あり )

○小寺書記

3月4日の議案質疑の日に最終報告をして、当特別委員会は調査終了ということで本会議の場で会議に諮って特別委員会の解散になろうかと思う。そこを皆に確認いただいて、調査終了でよろしいかお諮りいただきたい。

○西田委員長

今のスケジュールはそうになっている。3月4日の最終報告でこの特別委員会は一旦解散になる。そのような進め方でよろしいか。

○川神委員

結構である。今までやってきた協働のまちづくりはこれで終わりではなく、今からが本番。ここで出したものをしっかり議会内部で再びかみ砕き、議会活動はどうあるべきか、協働のまちづくりに対する一つのベースを今回この特別委員会でやった。我々がやったのではなく議会としてこの共通認識をどう持ち、それを市民に議会としてどう伝えていくかが大事である。今から情報発信していくという観点で。ここで1

回閉めた上で、議会活動の中で生かしていけば良いと思っている。

### ○西田委員長

これで終わりではない。川神委員が言われたように、あくまで協働のまちづくりはずっと続いていくものだし、浜田市民全体を巻き込んで協働の意識を推進していかなければいけないと思っているので、それは各常任委員会等でも一緒になって、その意識を常に持って進めていきたい。

機会があればどういう形でこういった特別委員会ができ上がるか、先々は分からない。それも含めて積極的に進めていきたい。

## 2 市民等へのメッセージについて

- (1) 浜っ子タイムズ
- (2) はまだ議会だより
- (3) その他

### ○西田委員長

事務局からどうぞ。

### ○小寺書記

( 以下、資料を基に説明 )

### ○西田委員長

村木委員、柳楽委員、芦谷委員はメッセージを出していただいて、ほかは私も含めてここには出してない。出された委員、補足的に簡単な説明をいただきたい。

### ○村木委員

キーワードということで、矢印の左側が条例の定義をうたっている。それを自分なりに示したものが矢印以降である。「市民等及び市が」からスタートなのだが、それについては市民だけではなく市も協働には関わっている。相手の立場や違う尊重というのは、人権の尊重が根底にある。一人一人が当事者意識を持つことは、誰かがやるのではなく誰もがやる。これは視察に行った際にも出た言葉で、すごく印象的だったので使わせてもらった。責任や役割分担を明確にするとは、できる範囲で、できることを、できるときに。これは、例のキャッチフレーズ。そういったものを入れさせてもらった。同じ目的のために共に考え、行動することを言う。まさに目標を定めて動こうということ。

協働の漢字だが、これはコーディネーターと話す中で出てきて、自分としてはずっと落ちたのだが、協働の「協」の字には力が三つある。この三つは、個と、企業・地域と、市である。それを「十」でつなぐ。そして「人」が「動く」。まさに三つの力が動くのが協働だと。こういったものも使ったら分かりやすいかと思う。

まちづくりについても、矢印から左側は条例の定義である。参画することはまさに協働を意識するという意味でもあるし、地域を住み良くするというのは生涯学習の理念だと思う。生涯学習の理念を出したことと、先日の市長との話の中でも、生涯学習は難しいという話もあった。どうしても本を読むとかセミナーに参加するとか、そ

うということも大事だが、それ以外にどうまちづくりに関わるかを少し示したかった。実際これは教育基本法にも書いてある言葉で、それは固いので、自分なりに思ったことを小さい括弧書きにした。具体的には、豊かな人生を送ることができるというのが、地域計画だとか望ましい社会に行くためにはなど、幼年期から高齢期までのあらゆるタイミングだと。あらゆる機会とは、子ども会やサークル、スポーツ、防災訓練、異世代交流等々の機会。あらゆる場所とは、集会所やまちづくりセンター。場合によってはY o u T u b eなど家で学ぶことも生涯学習の一つだと思っている。読書やセミナーだけでなく、調査したり話し合いしたりすることも学習であり、その社会の実現をすることが生涯学習によるまちづくりだということが言えたら良いと思った。

#### ○柳楽委員

村木委員が言われたそのままだと思った。私が書いていることを具体的に分かりやすく示してもらっている。村木委員が出してくださっているものをパネルのような形を出してもらおうと分かりやすいと思った。その中でどこの地域も子どもや若者にまちづくりに参加してもらおうのがなかなか厳しいとのことだったので、地域の方だけではなく行政側も何かしらのアドバイスなどをしていただけるような体制も大事だと思う。そこはどちらか一方からのアクションではなく両方から歩み寄りながら、良い知恵を働かすことが必要かと思った。

先ほど村木委員が生涯学習の話がされていたが、私の最後のところも、学びを通じてコミュニティに生かしていく取組も必要だと思った。

#### ○芦谷委員

言うことはないが、ここに書いてあるとおりである。同じようなことだろうが、参加や横のつながり、住民の力の結集、協力によって、住みやすく元気な地域になるということと、支え合い・助け合い。交流することで元気が増えるということ。住民それぞれに役割と活躍の場と出番があって居場所があるということを書いた。

今も出たがこの前の市長提言のときに、生涯学習の話が出た。大事なキーワードだと思ったのは、隣同士で付き合いをしながら学ぶこともあろうし、何もかも講座へ行く、本を読むということだけでなく、健康や料理、地域のこと、歴史、何でもかんでもそこで前へ進んでもらうことが、生涯学習イコール協働のまちづくりのソフト面では要ると改めて勉強させてもらった。

#### ○西田委員長

ではここに出されていない、ほかの委員からも市民へのメッセージということで一言ずついただきたい。

#### ○川神委員

皆が今言われたことはまさしくそういうことなのだろうと思う。ただ、協働のまちづくりというのは議員の中もそうだし、市民の捉え方、感覚、温度差が非常に離れている。できれば最終的に、誰が何をできるかということもあるが、必ず役割があるので、一人一人がどのような役割があるか認識して、その役割をもって地域に関わっていく、そういった意識が強ければ良い。自分は何もできないではなく、補完しながら

ら自分も何らかに関わる。そういったことを協働のまちづくりという考えの中で、一緒にやっていく。そういう良い連鎖を続けていく必要があるし、それをやっていくともう少し高い意識になり、もっと素晴らしいまちづくりになるかと思う。今はその入り口なので、誰もが参加しやすいという感覚を持ってもらう、他人事ではない自分たちのまち、地域なのだから、お互い自分のできることをやろうと、そういう強いメッセージがあれば良いと思っている。

### ○岡本委員

私個人が関わっていてここが一番弱い、ここを何とかしてほしい、このことを伝えたいと思うのは、村木委員の資料の中で「生涯学習とまちづくりの関係」の中に、「あらゆる機会」として、子ども会やサークル、スポーツなどと表現されている。どこでも共通しているのが、子ども会という組織、名前としては成立しているがそこにはないという現実がある。子どもを介した協働、子どもをつなげる、子どもが大事で育てるためにはここを大事にしていこう、そういうのがまちづくりの一つの役割だというものを強調するのもありかと思っている。全般的な横のつながりは分かっているけど、子育て世代がそこを本当に見てくれるのか疑問視しているので、この辺をキーワードに入れたらどうかと思っている。

### ○村武委員

村木委員、柳楽委員、芦谷委員は本当に良いことを書かれていると思って読ませていただいた。特に村木委員の、協働とは、まちづくりとは、というところはすごく分かりやすく書かれている。市民に協働がまだまだ浸透していないので、そこは書いていければ良いと思っている。

それと柳楽委員も書いておられるが、学びを通じたコミュニティづくりの推進というところで、生涯学習があると思うが、単に学ぶだけではないというところ。学びを通じてそこからつながりができて、地域にどう還元していくかが出せば良い。

まちづくりセンターなどを見ても、すべてではないが学びや活動をすることだけやっているところもあるので、どのようにつながりづくりにつなげていくかが出せば良い。

### ○西田委員長

私は、具体的に言うと我々浜田市民一人一人は、皆大きさが違う、歯車の数が違う、動力源、スピードが違う、一人一人を歯車に例えることができると思う。皆が同じ大きさと同じスピードで同じ歯車の数だったら皆がかみ合うが、皆違うのでかみ合わない。しかしまちづくりはできるだけかみ合わせるように一人一人が努力する。お互いの差がありながらできるだけかみ合わせるためにどうすれば良いか、それを前向きに考えて学んでいくこと、これが浜田市民の協働のまちづくりの意識付けではないかと思っている。そのようなことが伝えられたらと思っている。

委員皆の意見や思いを聞いたので、最終的にはまたまとめたいと思っている。全体の思いを伺ったが、もう少しここをこうしたらといった案はあるか。副委員長とも協議したいと思うが。

### ○芦谷委員

ざっくり言って協働というのが分かっているのか分かってないのか知らないが、この委員会を始める際に、なかなか議員間でも思いが違うからと言われるし、執行部に色々なことを聞いても皆違うのだとこのことなので、捉え方が難しいのだが、協働とはというよりも、今ある町内会・自治会の中のつながりを少しずつ大きくするというか。なかなか住民には理屈を言っても、地域にすんと落ちない。千差万別あるからこのことを進めるのは非常に難しいと思う。説明も難しいし、やるのも難しい。

### ○西田委員長

先般、私は大辻町の準備会に行かせてもらった。そこでも、それぞれの地域にはそれぞれの課題や悩み事がある。私は自分の地元の地域活動をご紹介したのだが、自分たちの地域のことは自分たちしか分からない部分があり、そこをいかに掘り起こして解決のために皆でどうしようか。それが少しずつ浸透していくのでは。具体的に自分たちがやるのか行政がやるのかで問題が出てくると思う。

### ○村武委員

私も昨晚、元浜町の準備会に参加した。そこは、統一感が取れず皆が同じ思いになかなかないという悩みを抱えておられた。きれいな形で進むのが一番理想的かもしれないが、浜田市全体を見るとそういうところばかりではない。自分たちのペースで良いので丁寧に進めたら良いのではないかとすごく感じた。皆が楽しくまちづくりを進めていけば良い。あまり焦らせる感じを出したくない。

### ○西田委員長

浜っ子タイムズは、緩やかな人もスピード感のある人も聞いておられる。緩やかな人にも理解されるメッセージがあったほうが良い気がする。焦ってはいけない。

### ○川神委員

ベストアンサーはないので、最終的にはここで出たものを正副でまとめてもらえば皆納得すると思う。

### ○西田委員長

副委員長とも相談しながらまとめさせてもらおうと思う。

### ○小寺書記

まとめたものについてはまた皆にも確認いただき、意見をいただければと思う。もう1点確認しておきたいのは、浜っ子タイムズも画像やテロップが多いほうが見やすいかと思うので、図や写真や表を出して訴えかけやすくなるように視覚的なものが豊富にあるほうが伝わりやすいと思う。どういったものを見せたいかは、事前に皆から案をいただきたい。今時点で何かあればいただけるとうれしい。正副委員長と打合せをしていこうと思うので、それまでにいただければそれを基に話ができる。

### ○柳楽委員

村木委員が書かれているものをもう少し分かりやすい形に仕上げたら良いと思う。先ほど、あまり厳しく表現しないほうが良いという話が出たので、そう考えると「責任や役割分担を明確にし」というところは少し緩やかな文言に変えたほうが良いと思

った。

**○芦谷委員**

今の話は、写真や映像ということか。

**○小寺書記**

写真、映像でも良い。

**○芦谷委員**

ずっとまちづくりフォーラムに参加しているが、浜田市はさも立派なことをやっているように良い発表をされるが、実際は違う。防災訓練や地域活動などがベースで、ものすごく立派にやっているところは、良いなと思うが、実際にはどこの地区にも適用されると思うので、あれは難しい。市の本気度は分かるが、なかなかまちづくりフォーラムで発表しているようなことには、地域は追い付かない。市民にすんなり理解されるのは何かと思う。

**○岡本委員**

委員長にも準備会を見てもらった。まちづくりという位置付けだと新たな仕事が増えて自分たちは負担なのだという声はどうしても出てしまう。まちづくりコーディネーターが資料を作って、今までは単独で町内があったが、実際は会計報告をこの場でやっていたが、実際は全体としてはこの地区は敬老会を一緒にするとか、防災訓練や一斉清掃など、全体でやることもやっているのだということの説明していくと、すごく理解が早かった。自治会という組織の有無も若干あるのだろうが、自治会という組織がまちづくりに移行し、発展的に自治会をやめてしまったところもあるのだろう。まちづくりコーディネーターの資料を修正して、本当はそれほど仕事が増えてないという表現をすると分かりやすいと思う。今のところまだ準備会なので町内会長を中心にやっているが、本当に欲しいのは民生委員や子ども会。この地区では評議員という位置付けだそうである。子ども会はないが。そういうことを提供して説明させてもらうと良いと思う。

準備会をやっているところは基本的には50、60、70代の人と話しているのだが、なかなか合意形成ができない。急ぎすぎだからもう1年やろうという話が出た。ゆっくり色々な課題を全部消化するという話になる。言いたいのは、町内の役というのはそれほど難しくないのだ、今やっていることもあるし、分かりやすい説明があったほうが良いと思っている。ただ、温度差がある。

**○西田委員長**

私らも感じるのは、浜田は人口規模が大きいから、それだけ潜在的なエネルギー源は多い。少し思いの強い人、きちんとした思いを持っておられる方に賛同する人がいれば、強いリーダーがいれば、エネルギーがそこに集まり一気に変わる。そういうポテンシャルは浜田のほうがあるはずである。周辺地域はじわじわ変わってきたが、浜田は思いの掛け方で一気に変わるエネルギーがある。

**○芦谷委員**

行政連絡員が広報を配っておられる。環境清掃指導員も兼務だから、ごみステー

ション管理。それから募金、一斉清掃、防災訓練。それだけで良いと思うので、そこを中心に今やっていることを整理して、なるべく皆に参加してもらおうということができればそこから前に進む。何かあまりにも協働のまちづくりだといって、地区まちづくり推進委員会が高い旗を掲げても地域の人が理解できないということがあるので。今やっていることを大事にして横につながる、なるべく参加してもらうのが第一歩かと思う。

#### ○西田委員長

市民の方々の普段からの身近な思いを出されれば、そこから発生していく。最初から形にこだわっても、形をつくるために何かしなければいけない。日常的なことから出したほうが良い。議長、何か所感があるか。

#### ○議長

最初は自治区制度廃止から始まり、ここまでまとめてもらっていただいたと思う。うまくまとめてもらったので私からはお礼しかない。

#### ○西田委員長

浜っ子タイムズや議会だよりのメッセージだが、これだけはもう少しということがあれば。

#### ○村木委員

私が訴えたい内容を見てもらいたい。現職のときも、逆さから読むと分かりやすいというのがあった。「協働とは」の左側が法令、右側が自分の気持ち。下から読むと、協働とは目標を定め動こう、そのためには、できる範囲でできることをできるときにやろう、誰がやるのかといえば誰もが皆でやろう、そのためには人格・人権尊重が根底にある、それには市民だけでなく市でもある、ということで、逆さから読むとまた落ちるところもあるかと思う。現職のときはスポーツを例えに出したのだが、市はある程度施設を整備する、補助金などで支援する、しかしあくまでも運営は各団体やチームがやっていく。それをこれに当てはめるなら、目標は勝つこと、または参加することなどで、そのためにはできる範囲のことをやろう、誰がやるのかという話があり、そこには人権尊重がある、もちろん選手だけでなくサポートする人や指導者も。スポーツは最大なる協働だと思っている。このように下から積み上げていくと納得する場合もあるので、今回の浜っ子タイムズに使われたら良いかと思う。

#### ○柳楽委員

提言書に、今度委員長が報告してくれる中に7項目あるが、この一つ一つについて、全体をやるわけにはいかないと思うが、例えば項目ごとに一番皆に分かりやすいところをされるのか。それともそこは関係なしで今出ている意見のようなことをやるのか。

#### ○西田委員長

村木委員が出された内容をベースに考えていく。それと皆がそれぞれ出された意見を組み合わせながら、できるだけコンパクトにまとめたほうが良い気はする。

#### ○小寺書記

今のは恐らく浜っ子タイムズのイメージかと思う。枠が15分と決まっていて、冒

頭申したように、今までの特別委員会の取組とメッセージ、大枠でこの二つで分けてもらえば良いと思っている。7分くらいで今までの取組について言ったり、当然提言について言ったりということはあろうかと思う。全体を組んでみないと分からないのだが、入れても良いものだと思う。

○西田委員長

市長に提言書を出した際、生涯学習都市宣言をもう少し押せば良い気はする。では、正副でまたまとめさせていただく。浜っ子タイムズに関しては、事務局から言われたような形で分割しながら、中身を出していきたい。はまだ議会だよりも肉付けをして、なるべく柔らかく緩やかにやろうと思う。大体そのような感じで良いか。

( 「はい」という声あり )

3 その他

○西田委員長

その他で何かあるか。

○小寺書記

地区まちづくり推進委員会設立準備会の方々との意見交換会、3か所行くことにしており2か所が昨日で終わったかと思う。2月27日に黒川に行っていた。報告書の提出をなるべく早目にいただけたらと思っている。3月4日で委員会としては活動終了になる。当然報告もそれまでにするのが筋かと思っているので、なるべく早くいただけたらと思うのでよろしく願います。いただいた報告書は皆で共有し、それぞれ生かしていただけたらと思う。

○村木委員

報告書だが、所感は参加委員全員か、それとも。

○小寺書記

メールでは全員でも一人でも良いとアナウンスしているので、お任せする。

○西田委員長

その他ないか。

( 「なし」という声あり )

ないようなので、第25回協働のまちづくり推進特別委員会を終了する。

[ 14 時 35 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

協働のまちづくり推進特別委員会委員長 西 田 清 久